

市政について、
各議員がみずからの政策提言も含めて、
市に考えを聞くのが「一般質問」。
9月定例会では16人の議員が一般質問を行いました。

一般質問

◆会議録

冊子は市役所市政情報コーナー、図書館でご覧いただけます。
※9月定例会の会議録は12月に発行予定です。

◆インターネット議会中継

市議会の様子(生中継・録画映像)をパソコンやスマートフォンでご覧いただけます。
また、各議員の写真脇にあるQRコードから一般質問の録画映像をご覧いただけます。



専用アプリで読み取ると
議会中継がご覧いただけます。

公民連携について

木村 博(公明党)



問 本市が初めて採用した公民連携の手法と事業名、時期、目的とは。

答 平成18年度から総合体育館を含む市内体育施設他9施設で指定管理者制度を採用し、効果的かつ効率的な住民サービスの提供を図った。

問 近年、本市において初めて採用した公民連携の手法と事業名、期待した効果とは。

答 新ごみ処理施設整備運営事業においてDBO方式を採用し、高い経済性を期待した。

問 今後の公民連携の必要性について本市の見解は。

答 民間の資金、技術、知識を活用することで、多様な公共サービスの提供や地域が抱える課題解決が可能となる。

問 公民連携を条例化等で明文化して市民に浸透させていく考えはあるか。

答 本市では条例設定の予定はしていないが、他の例なども調査研究して市民に理解が深まる形を検討していく。

〔その他の主な質問〕

○防災減災について

○予防医療の推進について

公共施設における不審者対応

香川 宏行(令和研究会)



令和5年8月に立川市で発生した小学校への不審者侵入事案は、まだ記憶に新しい。

問 本市における防犯マニュアルはあるか。

答 小・中学校、公立保育園及び地域公民館において策定されている。

問 不審者の侵入等があった場合、現状、どのように対応するのか。

答 直ちに警察署に通報するとともに、警察官が現場に到着するまでの間、複数の職員が連携し、さすまたなどを使用し、不審者の行動を制止したり、避難を呼びかけるなど、人命の保護を最優先に対応する。

問 さすまたの保管状況は。

答 それぞれの施設で、すぐに取り出して使用できるように配置している。

問 侵入を想定した実践的な訓練の実施が重要であるが、専門家の指導が必要ではないか。

答 現在も警察署や警察OBが講師を務めているが、より実践に近い形を検討していく。